



自己成長を感じるだけでなく、出場者(ファイナリスト)しかできない体験をすることができます。

工学部応用化学科では、多くの女子学生が大学院に進学して頑張っています。現在、私の研究室には、14名中4名の女子学生がいます。内1名は大学院生で4回生の時から学会発表もこなし、日々研究に取り組んでいます。また来年度も新たに1名の女子学生が大学院に進学予定です。先日私が15年前に指導した大学院卒の女性から、2人の娘を育児しながら研究チームリーダーに昇進したとの連絡を受けました。大学でしっかり力を付け、社会で活躍してくれていることが非常に嬉しかったです。

大阪工業大学では、化学・環境・デザイン・ロボット・情報など各分野で開花している女子学生を『Blossom Girls』として紹介しています(http://www.oit.ac.jp/japanese/juken/blossom_girls/)。是非、検索してみてください。



その他参照

内閣府男女共同参画局 理工チャレンジ(リコチャレ)
<http://www.gender.go.jp/c-challenge/>

クレオ大阪のリコチャレ応援
セミナーにもどうぞご参加ください。
→ 詳細は11ページ

催されます。参加費無料で、色々なモノ作りに挑戦できる大人気イベントです。小学生向けのイベントですが、子どもから大人まで楽しめますし、気軽に大学内を見て回ることができます。事前予約のプログラムも多いですが、約90のプログラムがありますので、1日楽しんでもらえます。モノ作りや実験が好きかどうか、確かめに来てください。

女性研究者ネットワークセミナー —リケジョの不安を解消!—

私は日本分析化学会に所属しています。理学部・工学部・薬学部・農学部・物理系学部の分析に関わる分野に携わる大学生・教員そして社会人がいるので、おそらく他の理系の分野の中でも女性参加者が多い学会だと思います。日本分析化学会では年2回の学会開催に合わせて、“女性研究者ネットワークセミナー”(https://fsnac.sakura.ne.jp/)を開催していて、私も世話人の一人として活動しています。

リケジョとして大学に進学しても、大学院進学・就職・結婚・育児など何かと迷うことがあり不安は絶えません。いろいろな先輩の事例や現状・取組を知ることで、不安を少し解消してもらっています。また、できるだけ男性教員や男子学生にも参加してもらい、リケジョの悩みを共有してもらっています。今年の5月18日の第14回女性研究者ネットワークセミナーでは、ランチを食べながら、九州工業大学副学長・男女共同参画推進室長 安河内恵子先生から九州工業大学の女性支援の取組について話を聞きました。女性研究者ネットワークセミナーには、一般の方や他分野のリケジョの参加も大歓迎です。

リケジョとしてより羽ばたくために —大阪工業大学応用化学科でのキャリア支援—

大阪工業大学では(リケジョも含め)就職率は安定して高い水準を保っていますが、工学部応用化学科では学生のキャリア支援のために『サイエンスアラカルトエコールプロジェクト』という学生チームを教員5名でサポートしています。中でも私は、女子学生に特化した①JST主催:サイエンスアゴラへの出展、②クレオ大阪子育て館でのリコチャレ応援セミナー、③文部科学省主催:サイエンス・インカレへの出場などを支援しています。例えば、サイエンス・インカレは、全国から書類選考に合格した精鋭のみが集う、自主研究の発表会です。

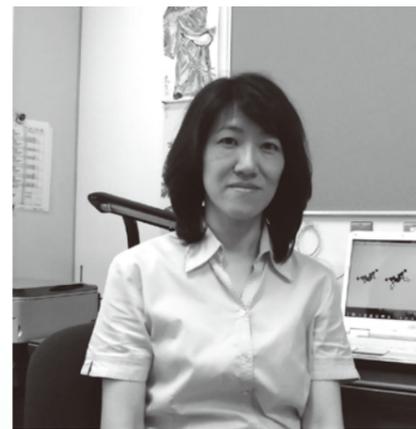
リコチャレ応援

モノ作りや実験が好きなら、理系がおすすめ!

やってみよう、試してみようという気持ちが一番大事!

大阪工業大学工学部応用化学科教授

森内 隆代さん



プロフィール

岡山県生まれ。小学2年から大阪在住。大阪大学工学部化学系に進学し、工学博士の学位を取得。1996年大阪工業大学に講師として着任し、2017年から現職。

『学研の科学』が好きでした



私は、小学生の時から、『学研の科学』の付録などで実際に何かを作ったり見たり試したりすることが好きでした。プラネタリウムを初めて見て天文学者になりたいと思っていた時期もありましたが、中学校でギター部に入部するとギターの練習に明け暮れてすっかり忘れてしまいました。

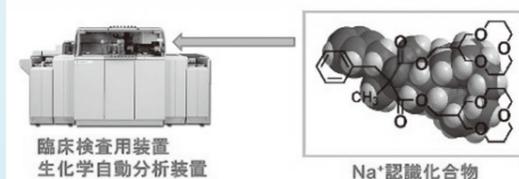
高校生になると文系科目に全く興味が湧かず(成績も散々)、自然に理系を選択しました。いざ大学のどの分野に進学するかを決める時、「実験は好き!」という気持ちがはっきりしていたので、実験のできる分野ということで『化学』に進みました(進学した大学の工学部では新入生約1,000名の

内、女子が13名しかいなかったのにはびっくりしましたが、いつも昼食は13名全員で食べていました)。工学部応用化学科は本当に実験時間が長く大変なのですが、どちらかというともっと楽しいと感じました。この楽しいという気持ちをもっと多くの人に知ってほしいと思い、学校の先生になるため高校の教員免許も取りました。でも、もっと自分を磨くため大学院に進学しました。なんと、大学院には5年間行き博士号を取得して大阪工業大学の先生になりました。現在は、血液・尿などの生体試料や食物中のイオンを測定できる化学センサーの開発に取り組んでいます。着任してからの10数年間は夜間コース(現在募集停止)の講義があったので、毎日午後10時過ぎまでの勤務でした。両親や姉夫婦の助けがなかったら、保育所と産休だけで息子2人を育てながら仕事を続けることは出来ませんでした。今は、九州工業大学のように出産・介護などライフイベントの時に『在宅勤務』を実際に活用できる大学があるので、今後広く浸透することを願っています。

モノ作りや実験が好きですか? 大阪工業大学で“工学実験フェア”にどうぞ

実験や研究は、『やってみよう』『試してみよう』『ここを変えてみよう』という気持ちが一番大事です。これ以外に特段の能力は必要ありません。危険を伴う場合があるので、基礎的な学力や知識が求められるだけです。なので、モノ作りや実験が好きな子は、理系に絶対に進むべきです。理系で培った技術は、きっとあなたの社会的地位も守ってくれます。モノ作りや実験が好きかどうか分からない人は、是非一度、大阪工業大学で開催している“工作実験フェア”(https://www.oit.ac.jp/japanese/academic/eng/fair/experiment.html)というイベントに来てください。今年は、8月10日(土)10:00~16:00に開

生体試料測定



食物細胞観察

